

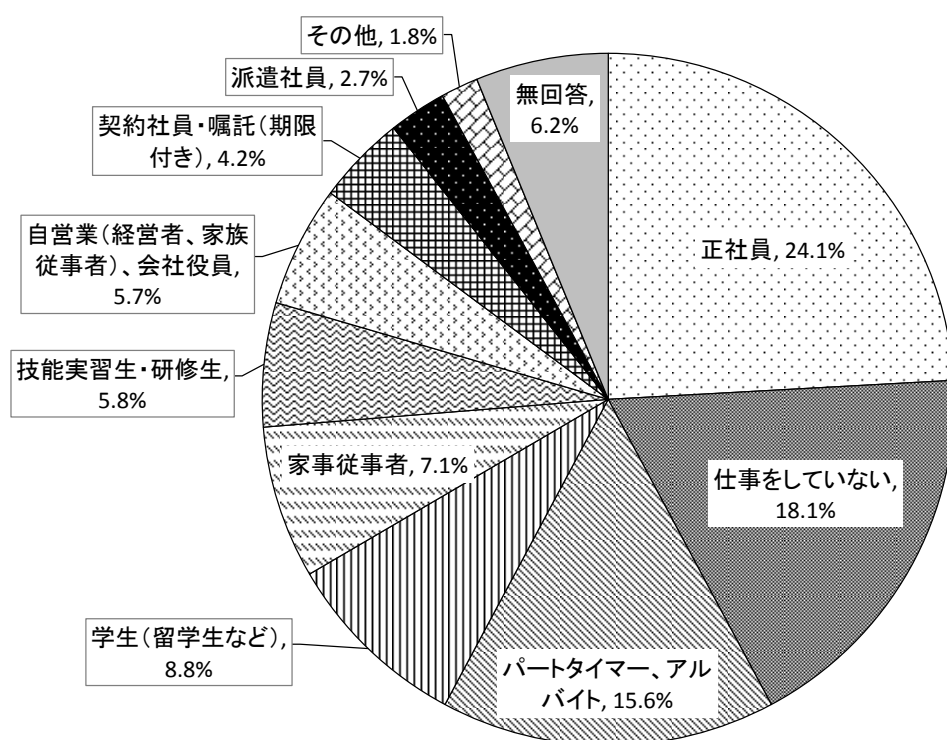
2.6 仕事

2.6.1 現在の仕事の雇われ方

21 あなたは現在の仕事で、どんな雇われ方をしていますか ※ひとつに✓

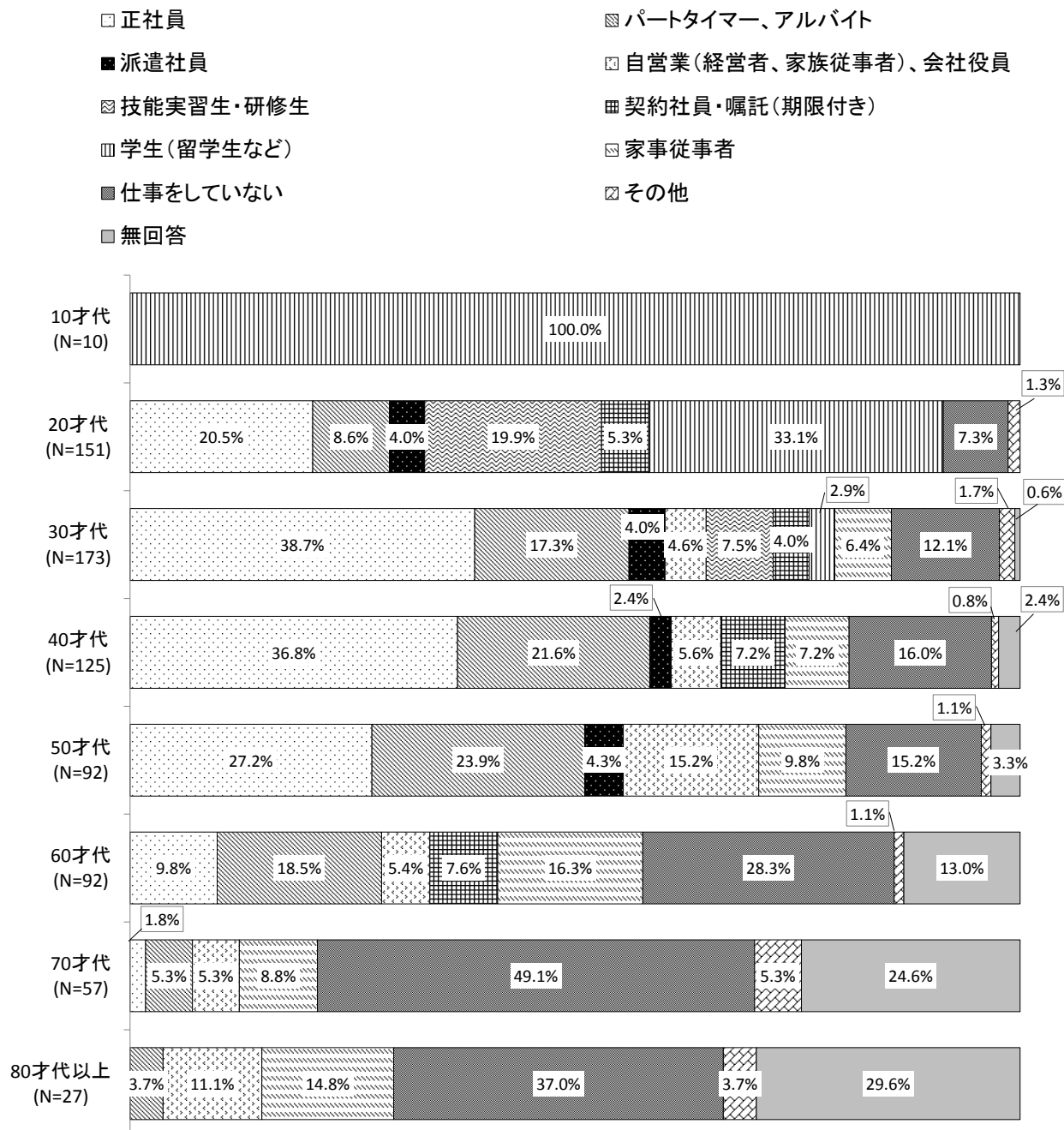
現在の仕事は「正社員」(24.1%)が最も多く、次いで「仕事をしていない」(18.1%)、「パートタイマー、アルバイト」(15.6%)の順となっています。

図表 1 現在の仕事の雇われ方(N=742)



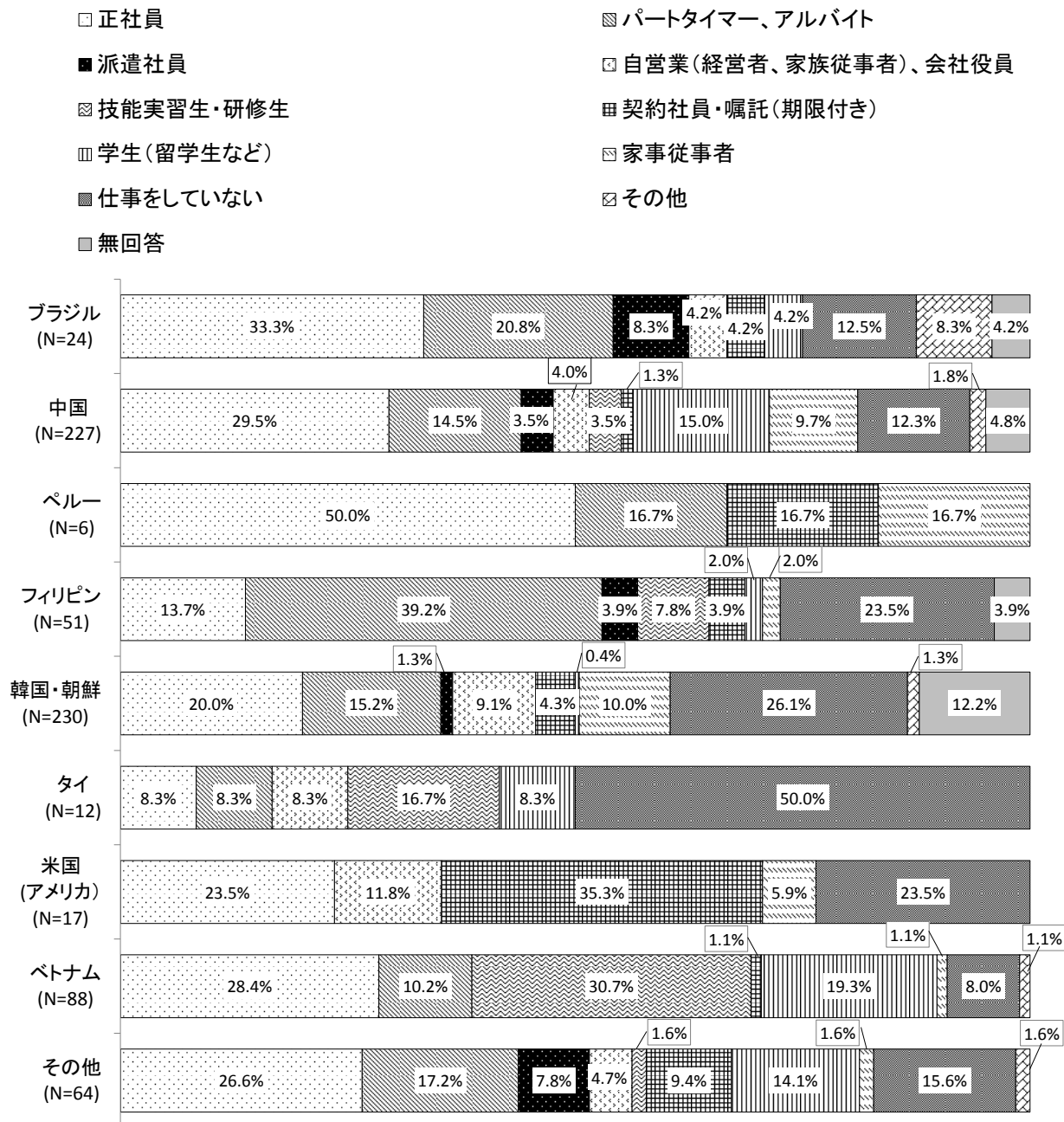
年齢別にみると、10才代と20才代では「学生」が、30才代や40才代、50才代では「正社員」が最も多くなっています。60才代以上では「仕事をしていない」が最も多くなっています。

図表 2 現在の仕事の雇われ方(年齢別)



国籍別にみると、ブラジルや中国、ペルーでは「正社員」、フィリピンでは「パートタイマー、アルバイト」、韓国・朝鮮とタイでは「仕事をしていない」、米国では「契約社員・嘱託(期限付き)」、ベトナムでは「技能実習生・研修生」が最も多くなっています。

図表 3 現在の仕事の雇われ方(国籍別)



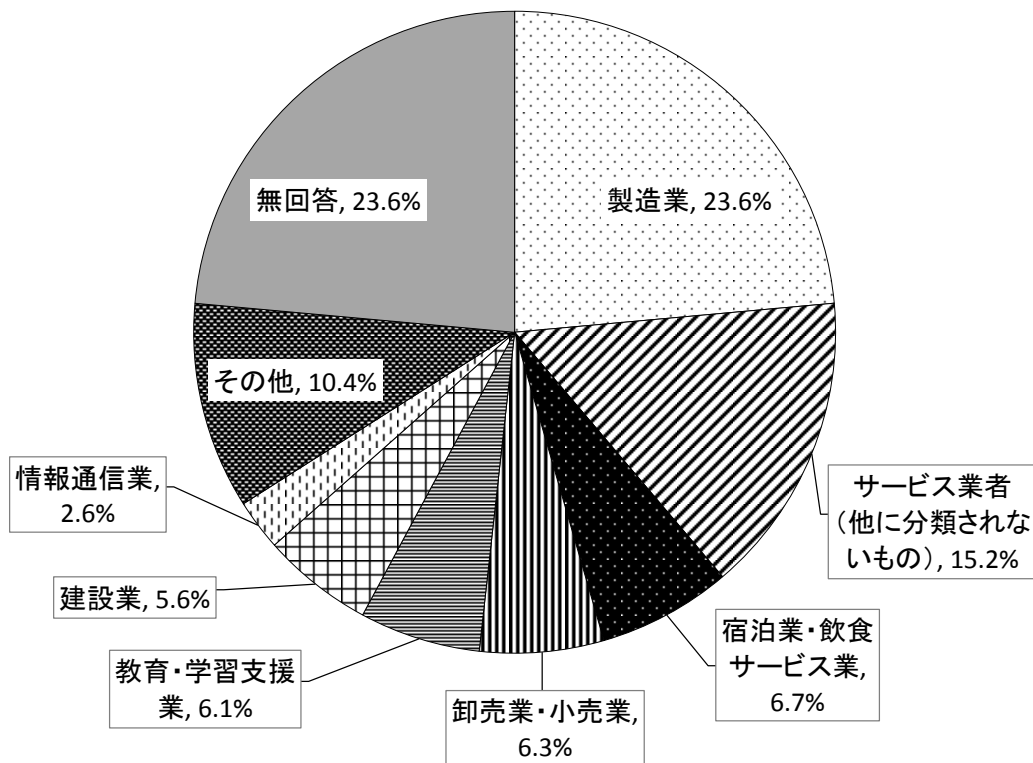
2.6.2 現在の仕事の分野(業種)

22 あなたはどのような分野(業種)で仕事をしていますか ※ひとつに✓

現在就いている業種は「製造業」(23.6%)が最も多く、次いで「サービス業者(他に分類されないもの)」(15.2%)、「宿泊業・飲食サービス業」(6.7%)の順となっています。

その他(10.4%)には、「不動産業」、「保険業」、「鉄道業」、「運送業」、「医療」、「介護」等の回答がありました。

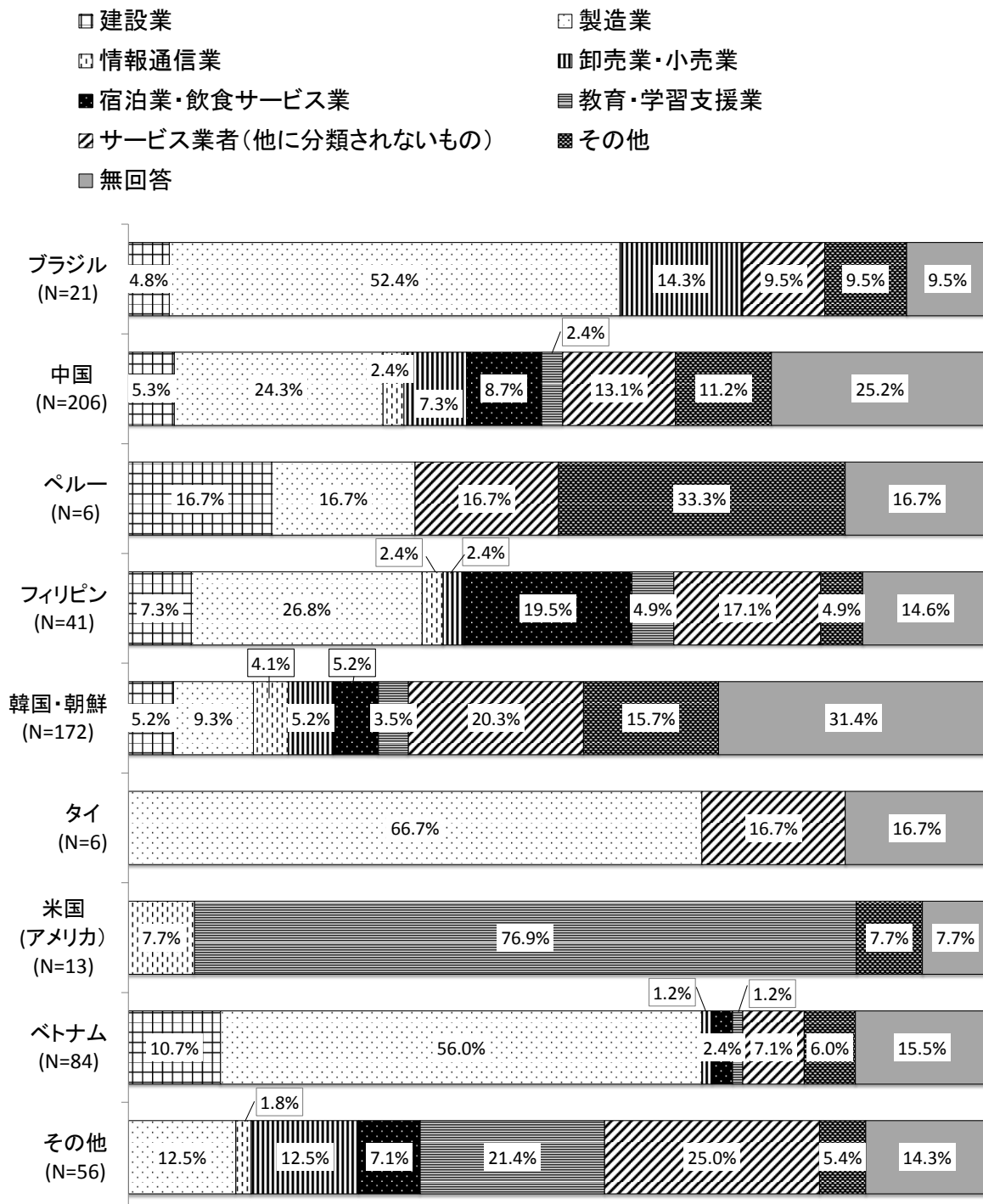
図表 4 現在の仕事の分野(業種)(N=624)



厚生労働省による「外国人雇用状況」の届出状況(平成 28 年 10 月末現在)では、「製造業」(31.2%)が最も多く、次いで「サービス業者(他に分類されないもの)」(14.2%)、「卸売業・小売業」(12.9%)、「宿泊業・飲食サービス業」(12.1%)の順となっています。上位 4 つの産業は同じであるものの、「製造業」、「卸売業・小売業」、「宿泊業・飲食サービス業」が全体に占める割合は比較的低くなっています。

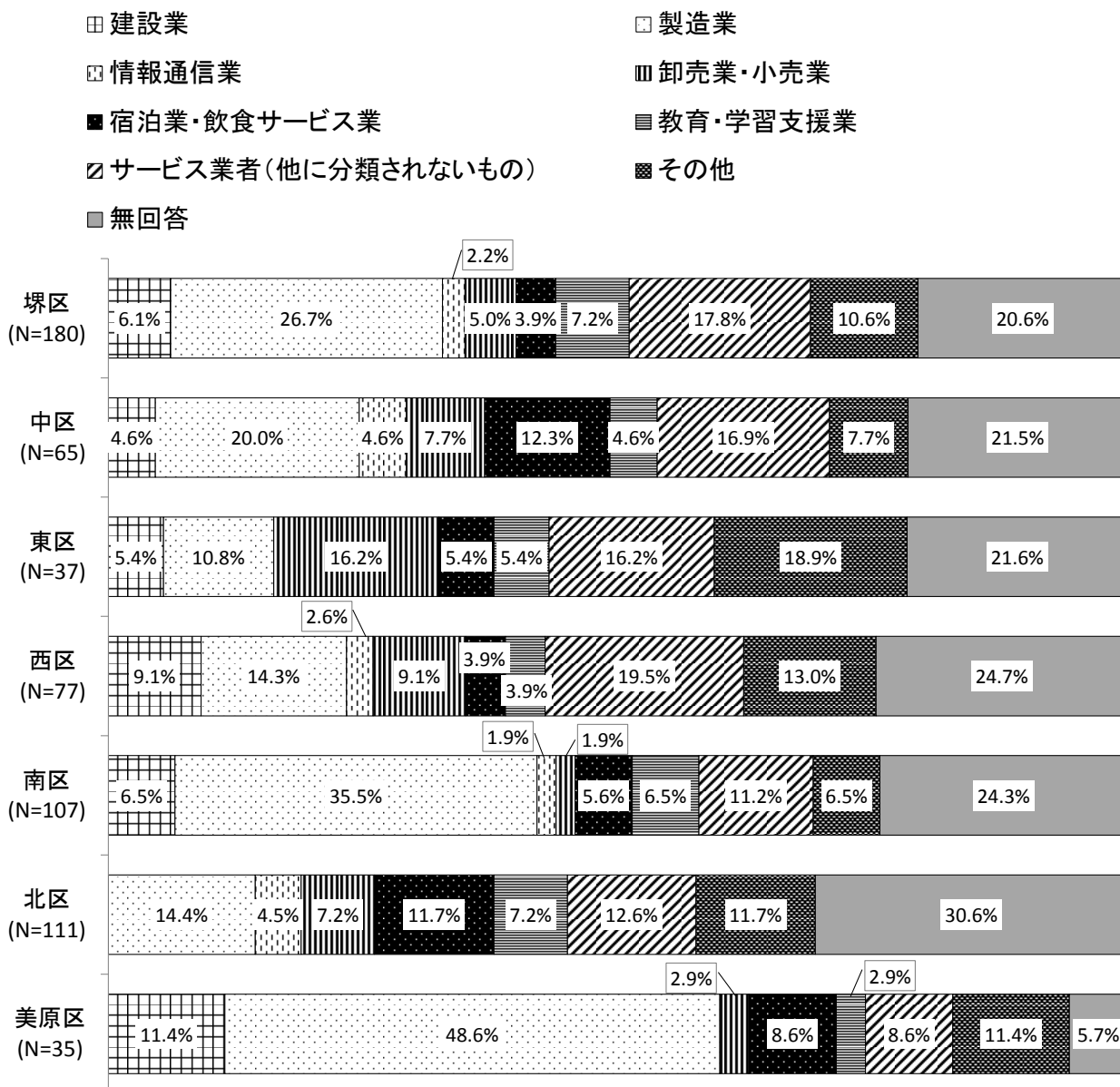
国籍別にみると、ブラジルや中国、フィリピン、タイ、ベトナムでは「製造業」、韓国・朝鮮では「サービス業者(他に分類されないもの)」、米国では「教育・学習支援業」が最も多くなっています。

図表 5 現在の仕事の業種(国籍別)



地域別にみると、堺区や中区、南区、北区、美原区では「製造業」が多く、特に美原区では 48.6%と割合が高くなっています。また、東区では「卸売業・小売業」と「サービス業者(他に分類されないもの)」、西区では「サービス業者(他に分類されないもの)」が最も多くなっています。

図表 6 現在の仕事の分野(地域別)



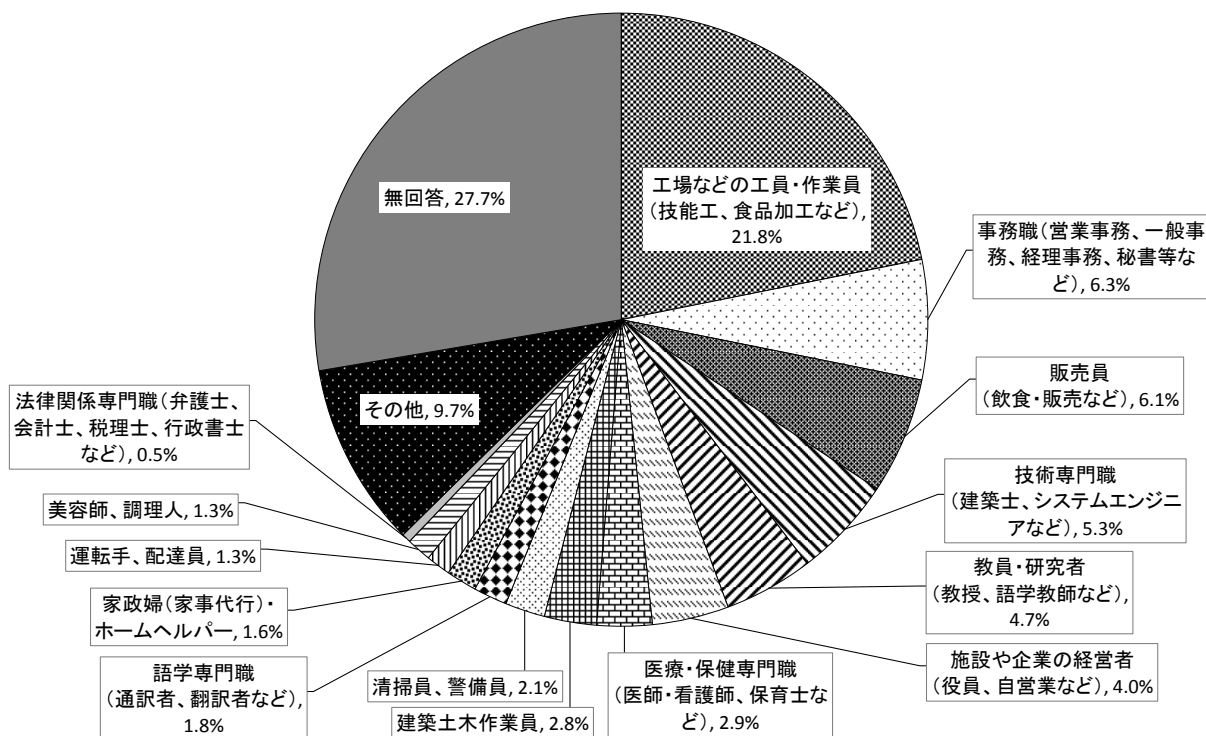
2.6.3 現在の仕事の立場(職種)

23 あなたはどのような立場(職種)で仕事をしていますか ※ひとつに✓

現在の仕事の立場(職種)は、「工場などの工員・作業員(技能工、食品加工など)」(21.8%)が最も多く、次いで「事務職(営業事務、一般事務、経理事務、秘書等など)」(6.3%)、「販売員(飲食・販売など)」(6.1%)の順となっています。

その他の回答では、「ピアノ講師」、「カメラマン」、「空港地上職員」等が挙げられています。

図表 7 現在の仕事の立場(職種)(N=618)



※「農家・漁師、採鉱員」は回答がなかったため、省略しています。

国籍別にみると、ブラジルや中国、ペルー、フィリピン、タイ、ベトナムでは工場などの工員・作業員(技能工、食品加工など)が、米国では教員・研究者(教授、語学教師など)が多くなっています。

図表 8 現在の仕事の立場(国籍別)

	施設や企業の経営者 (役員、自営業など)	医療・保健専門職 (医師・看護師、保育士など)	技術専門職 (建築士、システムエンジニアなど)	法律関係専門職 (弁護士、会計士、税理士、行政書士など)	教員・研究者 (教授、語学教師など)	語学専門職 (通訳者、翻訳者など)	経理事務職(営業事務、秘書など)	工場などの工員・作業員 (技能工、食品加工など)	販売員 (飲食・販売など)	家政婦(家事代行)・ホームヘルパー	運転手、配達員	清掃員、警備員	建築土木作業員	美容師、調理人	その他	無回答
ブラジル(N=22)	-	4.5%	4.5%	-	-	-	4.5%	45.5%	-	-	-	4.5%	4.5%	-	13.6%	18.2%
中国(N=203)	4.4%	2.0%	3.4%	1.0%	1.5%	2.5%	9.4%	24.1%	8.9%	2.5%	0.5%	0.5%	1.5%	1.5%	7.9%	28.6%
ペルー(N=6)	-	-	-	-	-	-	-	33.3%	-	-	-	-	16.7%	-	33.3%	16.7%
フィリピン(N=40)	2.5%	2.5%	2.5%	-	5.0%	-	2.5%	42.5%	-	2.5%	-	12.5%	5.0%	-	7.5%	15.0%
韓国・朝鮮(N=172)	6.4%	6.4%	5.2%	0.6%	1.7%	-	5.8%	7.0%	7.0%	1.2%	4.1%	3.5%	2.3%	1.7%	11.0%	36.0%
タイ(N=6)	-	-	-	-	-	-	-	50.0%	-	16.7%	-	-	-	-	16.7%	16.7%
米国(アメリカ)(N=13)	-	-	-	-	76.9%	7.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7%	7.7%
ベトナム(N=82)	-	-	15.9%	-	1.2%	2.4%	-	42.7%	2.4%	-	-	-	4.9%	-	7.3%	23.2%
その他(N=56)	5.4%	1.8%	3.6%	-	14.3%	3.6%	14.3%	10.7%	8.9%	-	-	-	1.8%	1.8%	14.3%	19.6%

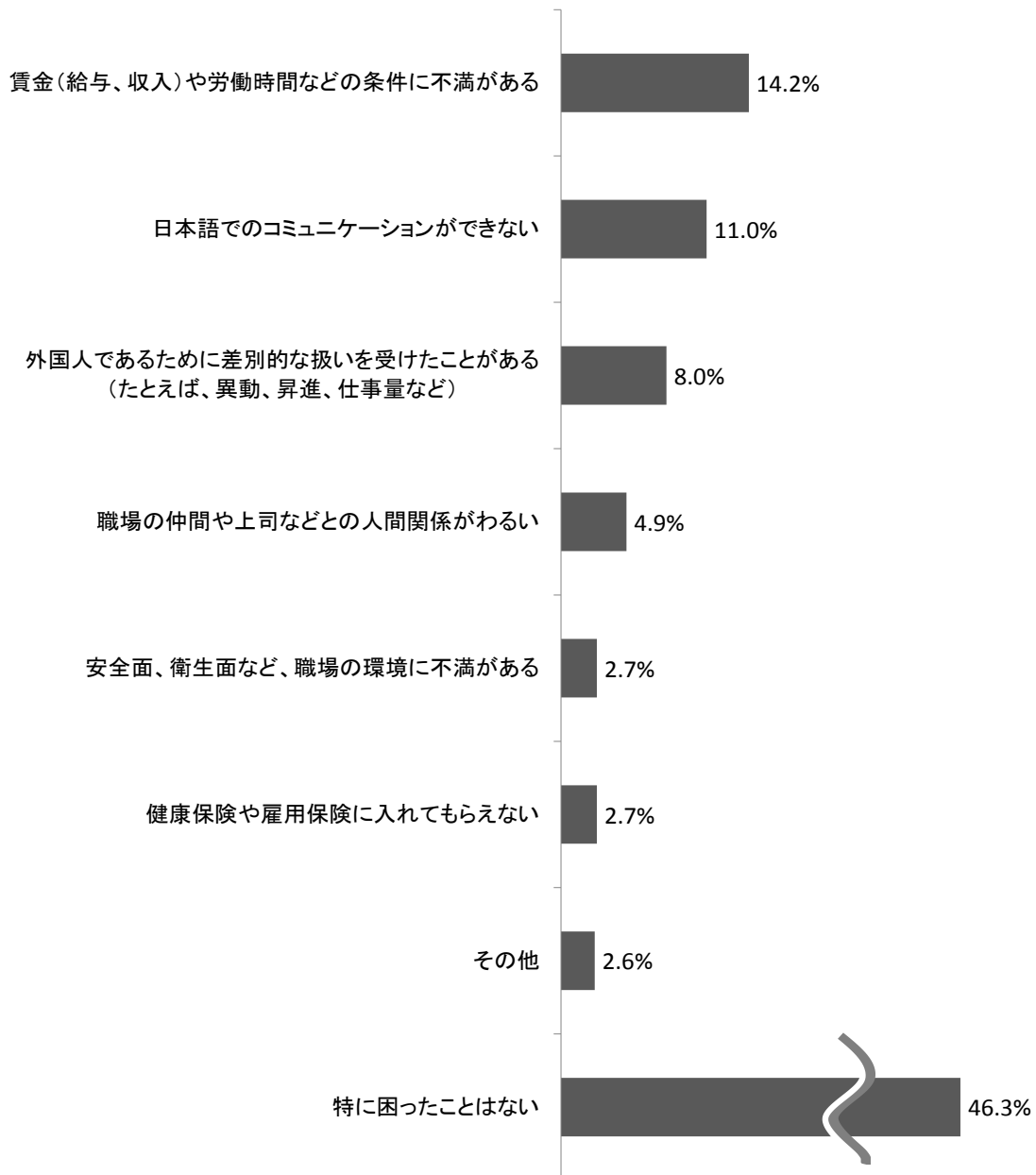
2.6.4 仕事で困ったこと

24 あなたは現在の仕事をしていて、困ったことはありますか ※いくつでも✓

現在の仕事をしていて困ったことでは、「特に困ったことはない」(46.3%)が最も多く、次いで「賃金(給与、収入)や労働時間などの条件に不満がある」(14.2%)、「日本語でのコミュニケーションができない」(11.0%)の順となっています。

その他の回答では、「子育てとの両立は難しい」、「文化による考え方の差、100%自分の考え方を伝えられない」等の回答が挙げられています。

図表 9 仕事で困ったこと(N=627)[MA]



国籍別、年齢別、地域別にみると、全体と比べて大きな差異はみられませんが、国籍別ではタイとベトナム、年齢別では20才代、地域別では南区と美原区において「日本語でのコミュニケーションができない」の回答が、「賃金(給与、収入)や労働時間などの条件に不満がある」よりも上回っていました。

図表 10 仕事で困ったこと(国籍、年齢、性別、地域別)

	調査数	日本語でのコミュニケーションができない	賃金(給与、収入)や労働時間などの条件に不満がある	安全面、衛生面など、職場の環境に不満がある	職場の仲間や上司などとの人間関係がわるい	(外国人たとえば、異動、昇進、仕事の量など)	健康保険や雇用保険に入ってもらえない	その他	特に困ったことはない	
合計	627	11.0%	14.2%	2.7%	4.9%	8.0%	2.7%	2.6%	46.3%	
国籍	ブラジル	22	9.1%	27.3%	9.1%	4.5%	-	9.1%	-	40.9%
	中国	208	11.1%	14.9%	1.4%	4.3%	9.6%	4.3%	3.8%	38.0%
	ペルー	6	-	16.7%	16.7%	16.7%	-	-	-	50.0%
	フィリピン	41	4.9%	9.8%	-	2.4%	4.9%	2.4%	2.4%	68.3%
	韓国・朝鮮	172	-	11.0%	3.5%	2.9%	1.7%	0.6%	1.7%	54.1%
	タイ	6	16.7%	-	-	-	-	-	-	66.7%
	米国(アメリカ)	13	15.4%	15.4%	7.7%	-	7.7%	7.7%	-	53.8%
	ベトナム	84	33.3%	8.3%	2.4%	7.1%	16.7%	1.2%	-	46.4%
	その他	56	14.3%	30.4%	1.8%	12.5%	14.3%	3.6%	7.1%	39.3%
年齢	10才代	10	-	10.0%	-	-	10.0%	-	-	40.0%
	20才代	145	17.9%	11.7%	2.1%	8.3%	13.1%	0.7%	3.4%	43.4%
	30才代	158	7.0%	13.9%	3.8%	5.1%	3.8%	3.2%	1.9%	34.2%
	40才代	109	10.1%	20.2%	5.5%	7.3%	5.5%	4.6%	2.8%	49.5%
	50才代	79	6.3%	12.7%	3.8%	5.1%	7.6%	3.8%	1.3%	57.0%
	60才代	68	1.5%	8.8%	1.5%	1.5%	2.9%	4.4%	-	42.6%
	70才代	30	-	3.3%	3.3%	3.3%	-	-	3.3%	30.0%
	80才代以上	17	-	-	-	-	-	-	5.9%	23.5%
性別	男性	266	13.5%	19.2%	4.5%	7.1%	9.4%	2.6%	2.3%	45.5%
	女性	347	8.9%	11.0%	1.4%	2.9%	6.9%	2.9%	2.9%	47.3%
	あてはまらない	2	-	-	-	50.0%	50.0%	-	-	50.0%
地域	堺区	180	12.8%	17.8%	4.4%	6.7%	11.1%	2.2%	2.8%	43.9%
	中区	65	7.7%	15.4%	1.5%	3.1%	12.3%	3.1%	4.6%	49.2%
	東区	37	5.4%	13.5%	2.7%	2.7%	5.4%	2.7%	2.7%	51.4%
	西区	78	3.8%	14.1%	-	5.1%	3.8%	3.8%	3.8%	47.4%
	南区	109	14.7%	10.1%	1.8%	4.6%	6.4%	2.8%	-	54.1%
	北区	111	7.2%	14.4%	3.6%	4.5%	9.0%	3.6%	1.8%	39.6%
	美原区	35	25.7%	11.4%	-	5.7%	-	-	5.7%	51.4%

2.6.5 仕事をしていない理由

(Q21 で、「仕事をしていない」と回答した人)

25 【問21で「仕事をしていない」と答えた】あなたに聞きます。

仕事をしていない理由はなんですか ※ひとつに✓

仕事をしていない理由では、「今は、仕事をする必要がない」(26.5%)が最も多く、「探しているが仕事がない」(9.8%)、「希望する仕事がない、または、自分の力を活かせる仕事がない」(5.3%)の順となっています。

その他の回答では、「定年退職した」、「妊娠中なので就業していない」、「高齢のため」、「病気」、「主婦」、「子育て中」等が挙げられています。

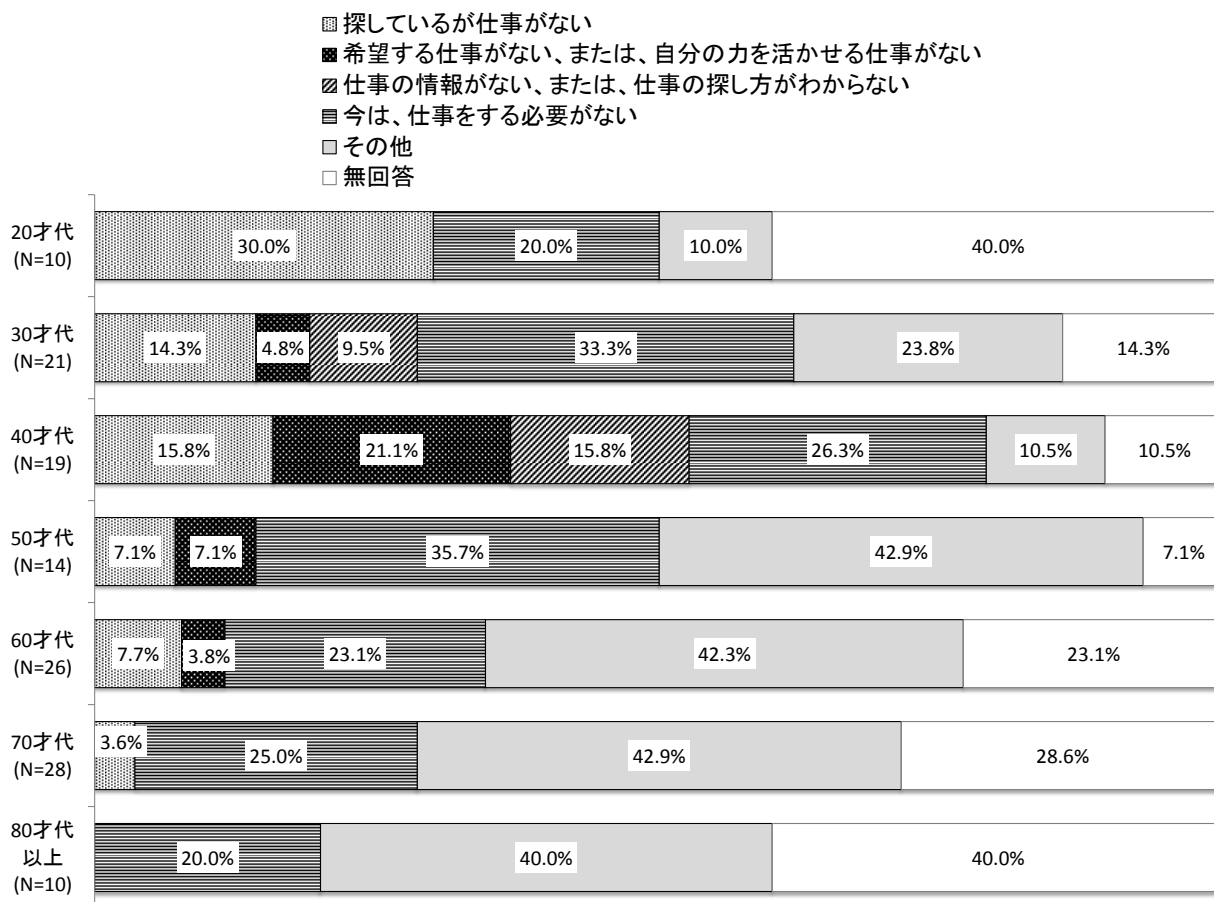
図表 11 仕事をしていない理由(N=132)

- 探しているが仕事がない
- 希望する仕事がない、または、自分の力を活かせる仕事がない
- 仕事の情報が無い、または、仕事の探し方がわからない
- 今は、仕事をする必要がない
- その他
- 無回答



年齢別にみると、20才代では「探しているが仕事がない」の回答が最も多くなっています。また、40才代では「希望する仕事がない、または、自分の力を活かせる仕事がない」の割合が他の年齢に比べて高くなっています。「仕事の情報が無い、または、仕事の探し方がわからない」と回答した人は、30才代と40才代のみに見られます。

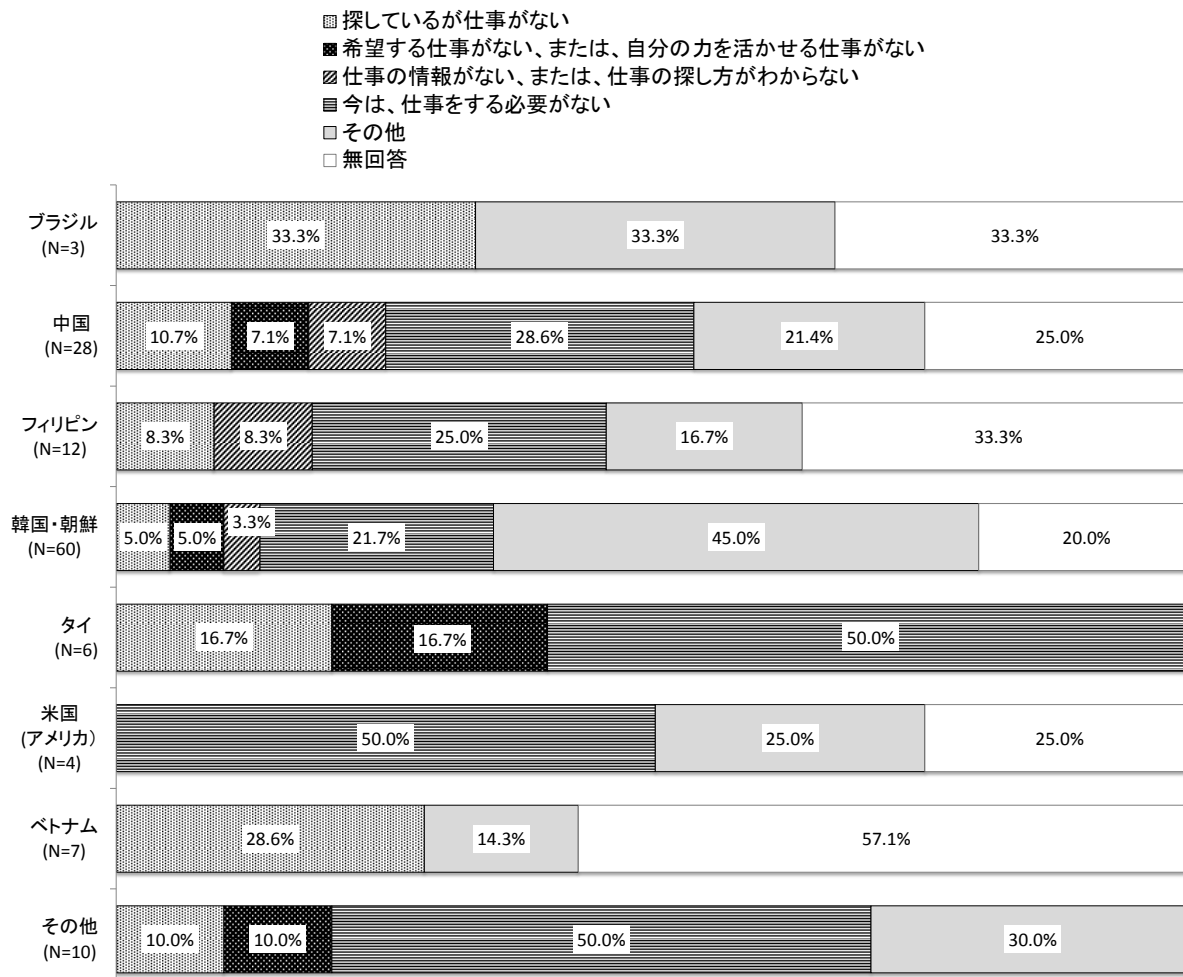
図表 12 仕事をしていない理由(年齢別)



※10才代は回答がなかったため、省略しています。

国籍別にみると、ブラジルとベトナムでは「探しているが仕事がない」が、中国やフィリピン、韓国・朝鮮、タイ、米国では「今は、仕事をする必要がない」が最も多くなっています。

図表 13 仕事をしていない理由(国籍別)



地域別にみると、いずれの地域も「今は、仕事をする必要がない」の割合が高くなっています。

図表 14 仕事をしていない理由(地域別)

